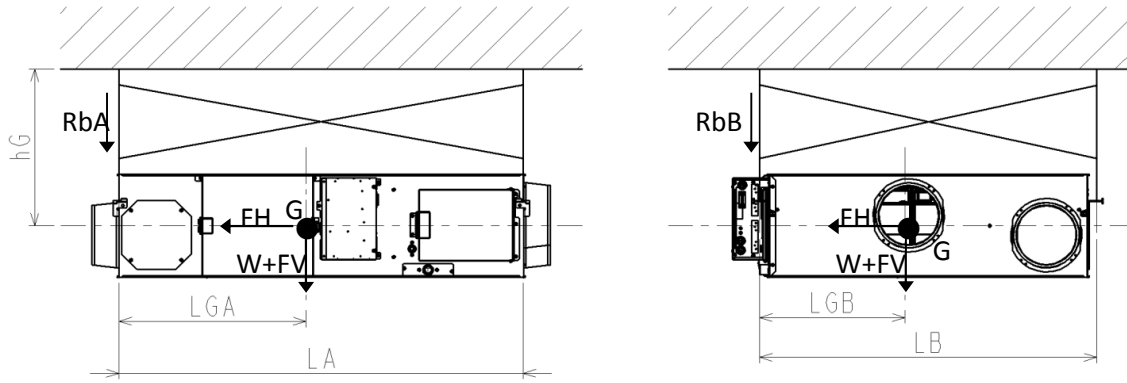


# ■ 業務用ロスナイ LGH-N15RKS2(D),RKX2(D) 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W =	34.0	kg	ボルトから重心	LGA =	600	mm
重心高さ	hG =	500	mm	までの距離	LGB =	283	mm
ボルトスパン	LA =	1169	mm	ボルトサイズ		M10	
	LB =	658	mm	ボルト総本数	n =	4	本
				片側ボルト本数	nt =	2	本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	0.33 kN	0.50 kN	0.67 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	0.17 kN	0.25 kN	0.33 kN
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA) 0.19 kN    0.25 kN    0.30 kN ・ボルトスパンB側(RbB) 0.27 kN    0.36 kN    0.44 kN		
アンカーボルトせん断応力度		・ボルト断面積 0.15 kN/cm <sup>2</sup> 0.23 kN/cm <sup>2</sup> 0.30 kN/cm <sup>2</sup> M10 0.55cm <sup>2</sup>		
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)	短期許容引抜荷重: 3.8 kN	14.1 倍	10.7 倍	8.6 倍
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm <sup>2</sup>	66.7 倍	44.5 倍	33.3 倍
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm <sup>2</sup>	60.2 倍	40.1 倍	30.1 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルトM10はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。